

主催



運営・指導



協賛



2016年7月11日

着衣泳のご案内

風にそよぐ木々の緑もまぶしい季節になり、また、子どもたちも水辺への好奇心が高揚する季節にもなっています。

子どもたちが水と戯れる歓喜はとても気持ちの良いものです。

しかし、毎年、悲しいかな水の事故が絶えないのも事実です。私たち旭丘スイミング職員は水泳だけを指導するのではなく、子どもたちを水の事故から守る事も使命と考えております。

つきましては、多くの開催経験を持つ私たち旭丘スイミング職員による着衣泳を下記の通り企画いたしましたので奮ってご参加いただきたくご案内いたします。



記

- 【日 時】 H28年8月6日(土) 12時30分～14時00分
- 【場 所】 (説)池田旭丘幼稚園遊技室・(実)旭丘スイミングプール
- 【対 象】 池田旭丘幼稚園 年長の親子
- 【募集人数】 20組(先着順で定員になり次第、締め切ります)



- 【応募方法】 7月20日(水) 17時まで下記、参加申込書を幼稚園職員室まで提出ください！
- 【内 容】 主旨説明～ういてまで!の実際をプールにて親子で経験します。
- 【費 用】 社会貢献事業として**無料**です。
- 【持ち物】 濡れても良い私服、洗濯済みの運動靴、空のペットボトル 1.5L
- 【スイミングからのプレゼント】

企画者が沈下防止だけを念頭に自作したシャツを抽選で贈呈します。

昨年、庄内小学校にて豊中南消防とのコラボ時に絶賛いただいたシャツです。

- 【企画実施】 アイト・アドミン株式会社 HP <http://aito-adomin.com>

.....きりとりせん.....

参加申込書				No. _____		
くみ		なまえ				
連絡先 住所	☎		参加 人数	保護者 子供	人	人

主催



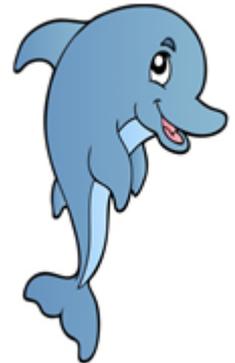
運営・指導



協賛



【着衣泳実技一〇〇:〇〇-〇〇分】



【着衣泳の目的】説明→伴田

- ①着衣状態で水に入った感覚を体験する(水の抵抗や着衣付着による動きの制限経験)
- ②不意の落水時に命を守る手段を知る (ういてまで)
- ③体力の消耗を防ぎながら救助を待つ方法を学ぶ(ういてまで→背面浮き)
- ④落水者や溺水者への対応を学ぶ(勇気付けから簡易救助法、119通報)
- ⑤不意の事故を想定した簡単な防災グッズを学ぶ(個々レベルでの日頃からの危機管理)

【実技進行カリキュラム】

準備体操 靴を脱いでプールサイドで広がる
 広がってもらう時に指導員同士が接触し、派手に落水する。
 不意の落水をアピールし、落水方法の練習は無意味を誇張！

落水一

説明→伴田

カリキュラム予定



準備体操
 入水～実技
 ボビング

伴田

アナウンス→伴田

水中歩行(横移動)×2=5' 着衣での動きの制限体験
 遊泳 (横移動)×2=5' 同上→泳げない体験
 洗濯機(左右回転)×2=5' 水の流れによる抵抗体感
 背面浮見本(視線や脱力-注意説明) 3'
 背面浮(親子練習) スタッフ個別サポート 5'
 靴の装着→背面浮(靴は浮く) 3' + 5' = 8'
 ペットボトルでの背面浮 3' + 5' = 8'



落水→救助例 シミュレート

(池にボールが落ち、これを取ろうとしていた時を想定) 7'

ナレーション担当
 取ろうとして落水
 救助行動 (浮き具の投入と勇気づけ)
 119通報
 親子でペットボトル救助体験